



壬生町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化に起因する気候変動の影響により、全国的に気象災害が頻繁に発生し、また激甚化する傾向にあります。本町においても、大型台風や集中豪雨により浸水被害が発生するなど、町民の生活に大きな影響をもたらしています。

2015年に合意されたパリ協定では「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2度より十分低く保ち、1.5度以内に抑える努力をする」との目標が国際的に広く共有され、この目標を達成するためには「2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

壬生町は、清流に恵まれた緑豊かな自然環境を背景に、歴史的・文化的な資源を有する町であります。これまでも、先人達より引き継がれた地域特性や地域資源を生かしながら、町民の皆さまとともに環境の保全に取り組み、住みよい町づくりを推進してきましたが、これからは、私たち一人ひとりが、これまで以上に地球環境への強い危機意識をもち、地球温暖化を防止するために、脱炭素への取り組みを着実に推進しなければなりません。

未来を担う子どもたちが、恵み豊かな環境の恩恵を受け、夢や希望を持ち健やかに成長していくために、町民・事業者・行政が一体となり、「オールみぶ」で2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」をここに宣言します。

令和6年3月18日

壬生町長

小 菅 一 弥